

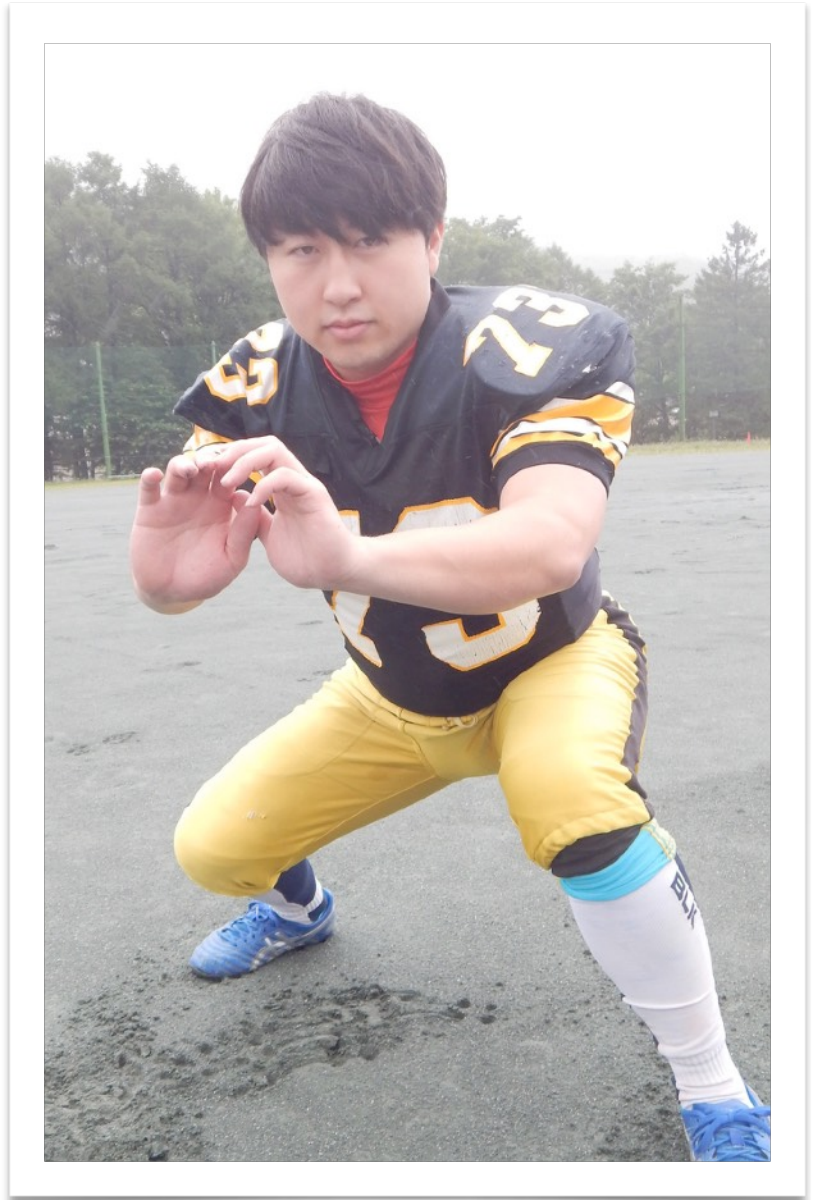
## ■原田 耕太（はらだ・こうた） 室蘭工業大 OL/DL 4年

6年ぶりの1部復帰を果たした昨季、大学の新型コロナウイルス感染対策でアメフト部は練習開始が遅れ、胆振管外への移動規制もあって、道学生選手権（秋季リーグ）を2試合とも棄権する不運に見舞われた。選手17人で復活を期す今季。原田耕太主将の決意は「去年の悔しさを晴らす」だ。

北見北斗高で名門のラグビー部に所属し、フォワードの最前列のプロップを務めた。全道高校大会は2度の準優勝で、残念ながらラグビーの甲子園の花園には行けなかったが、国体の北海道選抜にも選ばれた。建築の勉強をしたいと入学した室蘭工業大にラグビー部が無かったこと、「学生スポーツらしさ」にひかれてアメフト部に入部した。168センチ、85キロの鍛え抜かれた体で1年生からOL、DLで試合に出場。「1年生の時にDEで先発出場し、完封勝利したのが思い出に残っている」という。

1部復帰を決めた2019年の1、2部入れ替え戦でも存在感を示した。1部最下位の札幌大に0-10と先制を許したが、当時2年生の原田らOLの力強いブロックが実力を見せ始めると、ランプレーで4連続TDを奪い、28-10の逆転勝利を挙げた。守備ではLBで先発し、札幌大の反撃を封じる値千金のインターセプトを決めた。「あとは勝利のカウントダウンだった」と笑顔で思い出す。

OLでは「動きのあるプレーに自信がある」とプルアウトからのブロックを得意とする。DLでは素早いチャージから相手OLをかわしてのタックルが自慢だ。9月26日開幕の今季、室蘭工業大は北海学園大、北星学園大と同じAブロックに入る。相手にとって不足はない。「室工大として久しぶりの1部リーグ。個人としても学生最後の年。集大成のプレーをしたい」と決意する。



### 【プロフィール】

1999年8月28日、訓子府町生まれ。工学部建築社会基盤関係学科。北見北斗高出身。  
168センチ、85キロ。